

第 40 回全国建築板金競技大会

実施要綱

平成30年2月24日(土)・25日(日)

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会
全日本板金工業組合連合会

全国建築板金競技大会 実施要綱

1. 目的

我が国の伝統ある建築板金の技能を後世に残し、将来の建築板金を担う若手の後継者の発掘と育成を図るため、その技能を発表する機会を設け、その技術力を競技・研鑽させる。それにより国民生活に欠かすことのできない「住」に係わる優秀な建築板金の人材育成を行い、我が国の住環境の品質の向上・安心・安全に資するものとする。

□ 技能競技の部 (ZIC)

技能者が新しい時代の要請に応えていくためには、技能の基本に立脚し、創意・工夫を重ねていかねばならない。具体的には建築板金業における「ものづくり」の基礎を成す<技能>の継承及び国民生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である<技能>の振興に対する決意と取り組みを内外に表明する。

□ 建築技術の部 (NYAC)

建築板金業における良質工事の確保に必要な施工管理技術の向上に資すると共に、建築の様式や工夫の変化に対応した施工技術の向上と有能な技術者を建築板金業界に確保し、国民の住生活の向上と、重要な役割を担う建築板金業の施工管理能力<責任施工能力>の向上に対する決意と取り組みを内外に表明する。

2. 実行機関

- 主催 一般社団法人日本建築板金協会（日板協）
全日本板金工業組合連合会（全板連）
- 後援 厚生労働省・国土交通省・静岡県・富士宮市
職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
- 設営 日板協／全板連青年部
- 協力 各板金工業組合協議会青年部
（北海道・東北・関東甲信越・中部・西部・四国・九州（順不同））

3. 選手の参加資格

建築板金に興味がある者であれば誰でも参加可能（職業訓練生・学生も可※）。

ただし、過去の大会における部門第1位入賞者でないこと。

参加申込み者が会場収容スペースを上回った場合は、先着順とする。

※未成年者の場合は保護者の同伴が必要となります。

4. 開催期日

平成30年2月24日（土）・25日（日）

5. 開催場所（宿泊場所）

〒418-0101 静岡県富士宮市根原492-8 「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968 FAX:0544-52-1336

<http://www.fuji-kkc.ac.jp/>

6. 参加申し込み 等

(1) 所定の参加申し込み用紙でお申込みください（FAX可）。

(2) 参加申込並びに参加費振込期限 …… 平成29年10月31日（火）17時

- ・ 期限以降の参加取消しの場合、参加費用は返金いたしかねますので予めご了承ください。
- ・ 上記期限までに参加申込および参加費の振込が確認できない場合、参加を受理できませんので十分にご注意ください。

(3) 参加費

- ① 選手：一人19,980円（18,500円（本体）+1,480円（消費税）・支給材料費、宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）
- ② 参観者：一人19,980円（18,500円（本体）+1,480円（消費税）・宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）※ 選手、参観者ともに一泊三食（夕・朝・昼）。

(4) 参加費の振込先

りそな銀行 麻布支店（普通）1715495 「一般社団法人日本建築板金協会」

（振込手数料はご負担ください）

7. 競技課題及び持参道具

技能競技の部（ZIC）

- 1) 銅板による「水差し」の作成（展開図の作成を含む）とし、その詳細は課題冊子によります。
- 2) 課題冊子に記載された「指定工具一覧」以外の工具類の使用はできません。
※不明な点は必ず事前に確認してください。

建築技術の部（NYAC）

- 1) 「屋根・外壁工事」に関する施工図2枚を作成することとし、その詳細は課題冊子によります。
- 2) 道具類は課題冊子に記載された「選手が持参するもの」等をご確認ください。

事前に送付する場合は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにしてください。

（現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります）

〒418-0101 静岡県富士宮市根原492-8 「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968 FAX:0544-52-1336

「富士教育訓練センター気付 日板協 ○○・○○○○（組合・氏名）」

8. 審査基準及び方法

大会の円滑なる運営を図り厳正公平な審査を期するため本部委員会、実行委員会、審査委員会を設置し別途定めるものによる。

(1) 本部委員会の構成

本部委員会の構成は、日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部部長より委任された者をもって構成する。

(2) 実行委員会の構成

日板協青年部役員がこれにあたる。

(3) 審査委員会の構成

外部審査員

技能競技の部：職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会指名者

建築技術の部：国土交通省、職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会、各指名者

内部審査委員

日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部役員

(4) 審査結果の発表

時期：平成30年3月中旬（予定）

※課題作品の返却は致しません。

また審査結果に関する得点の内訳は公表しません。

9. 表彰

上位入賞者は次のとおり表彰する。

① 内部表彰

両部門第1位から第10位までを入賞とする。

第1位から第5位までを日板協会長名による賞状と記念品を、第6位から第10位までを日板協会長名による賞状を授与する。

② 外部表彰（予定）

□ 技能競技の部（ZIC）

第1位 厚生労働大臣賞

第2位 厚生労働省 職業能力開発局長賞

第3位 静岡県知事賞

第4位 富士宮市長賞

第5位 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

□ 建築技術の部（NYAC）

第1位 国土交通大臣賞

第2位 国土交通省 土地・建設産業局長賞

第3位 静岡県知事賞

第4位 富士宮市長賞

第5位 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

③ 表彰式（予定）

両部門第1位～第5位の上位入賞者に対して下記の通り表彰を行う。

外部表彰：全国建築板金業者大会（第1位は登壇して受賞）

内部表彰：日板協青年部通常総会時

10. 不可抗力による開催の中止・短縮及び管理責任

地震・台風・火災等の天災、感染症、テロ、諸官庁からの指示・命令、その他不可抗力により開催が困難となった場合は、主催者の判断により開催の中止または短縮を行うことがあります。

- ① 開催日前々日以前に開催中止となった場合は、弁済すべき必要経費を差し引いた参加費の残額を返金します。
- ② 開催中（設営日（大会前日）を含む）に発生した不可抗力による開催中止もしくは短縮については、原則として参加費は返金しません。
- ③ 開催中止・短縮のために参加者が要した費用（交通費・宿泊費・工具発送費等）については補償しません。
- ④ 天災、事故、盗難、その他不可抗力により、人身や物品に対する傷害・損害が生じても主催者はその責任を負いません。事前に保険等に加入するなどリスクに対しての必要な措置をとって下さい。

11. スケジュール（予定）

二日間のスケジュールは下記の通りです。

	時刻	行事・行動	備考
第 一 日	12:30	集合	JR 新富士駅北口ロータリー
	12:40 ~	バスで移動	
	13:30 ~ 14:10	受付	富士教育訓練センター
	14:20 ~ 15:00	開会式	
	15:10 ~ 15:20	記念撮影（屋外）	（荒天時は体育館で撮影）
	15:50 ~	競技上の説明 ・持参道具点検 等	選手 : 各部門会場 参観者 : 当日ご案内
	18:00 ~ 19:30	夕食	
	17:00 ~ 22:00	入浴	
	23:00	消灯（自室へ）	
	第 二 日	6:30 ~ 7:30	朝食
7:50		選手点呼	
8:00 ~ 12:00		競技	
12:00 ~ 12:50		昼食	
13:00 ~ 13:30		閉会式	
14:00 15:00頃		<参加者> バスで移動 解散	JR 新富士駅北口ロータリー
12:00 ~		<役員・スタッフ> 審査・撤収作業 等	富士教育訓練センター

※スケジュールは変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

12. 参考資料①：過去の上位入賞者（敬称略）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第39回	第1位	堀井貴義（愛知県）	飛留間和紀（千葉県）
	第2位	溝口隆之（岡山県）	足立 徹（大阪府）
	第3位	小山田由幸（岩手県）	唐島盛一（富山県）
	第4位	山下大輔（岡山県）	森永龍一（長崎県）
	第5位	佃 幸二（石川県）	諸田伸輔（群馬県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第38回	第1位	森永龍一（長崎県）	久保田春紀（長野県）
	第2位	桂田 睦（滋賀県）	高橋信一（宮城県）
	第3位	片野裕勝（北海道）	足立 徹（大阪府）
	第4位	堀井貴義（愛知県）	諸田伸輔（群馬県）
	第5位	田中 凌（秋田県）	唐島盛一（富山県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第37回	第1位	久保田春紀（長野県）	國松慶誇（東京都）
	第2位	高橋信一（宮城県）	足立 徹（大阪府）
	第3位	片野裕勝（北海道）	唐島盛一（富山県）
	第4位	大西浩一（青森県）	諸田伸輔（群馬県）
	第5位	酒井庸輔（福島県）	石川昭宏（北海道）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第35回	第1位	唐島盛一（富山県）	元木敏仁（東京都）
	第2位	森永龍一（長崎県）	諸田伸輔（群馬県）
	第3位	熊谷栄太（岩手県）	足立 徹（大阪府）
	第4位	加藤和宏（秋田県）	石戸谷妙一（青森県）
	第5位	富士トーマスリー（徳島県）	中込公一（東京都）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第34回	第1位	橋谷冬紀（香川県）	武井 士（山梨県）
	第2位	桶本真弘（京都府）	諸田伸輔（群馬県）
	第3位	島津隆行（奈良県）	田中義一郎（新潟県）
	第4位	菅野雅道（福島県）	足立 徹（大阪府）
	第5位	藤原 譲（秋田県）	山田 満（島根県）

※第36回全国建築板金競技大会は、悪天候のため中止

13. 参考資料② 歴代優勝者一覧（敬称略）

年度	回数	技能競技の部（ZIC）優勝者	建築技術の部（NYAC）優勝者
昭和54年度	第1回	住田洋一（三重県）	平成3年度（第1回） ～平成7年度（第5回） 「全国建築技術コンクール」 として開催 平成8年度より 「建築技術の部（NYAC）」として 開催回数を統一化
昭和55年度	第2回	菊地修晴（青森県）	
昭和56年度	第3回	海野英男（長野県）	
昭和57年度	第4回	佐藤彰三（長野県）	
昭和58年度	第5回	別井閑伯（大阪府）	
昭和59年度	第6回	池田 勝（香川県）	
昭和60年度	第7回	渡辺幸雄（福島県）	
昭和61年度	第8回	橋谷輝昭（香川県）	
昭和62年度	第9回	岩間郁彦（三重県）	
昭和63年度	第10回	木村昭一（千葉県）	
平成1年度	第11回	神谷 聡（愛知県）	
平成2年度	第12回	宮村浩樹（大阪府）	
平成3年度	第13回	徳永正典（香川県）	松代一郎（愛知県）
平成4年度	第14回	平瀬秀樹（愛知県）	大沢 裕（青森県）
平成5年度	第15回	仲田 満（島根県）	園部良男（茨城県）
平成6年度	第16回	吉澤澄夫（東京都）	須賀原尚弘（福井県）
平成7年度	第17回	今泉信一（福島県）	尾形 誠（福島県）
平成8年度	第18回	佐藤 剛（秋田県）	金子正勝（岩手県）
平成9年度	第19回	越前谷満（秋田県）	小林 茂（群馬県）
平成10年度	第20回	片山匡裕（愛知県）	助川啓一（茨城県）
平成11年度	第21回	伊藤博美（秋田県）	平瀬秀樹（岐阜県）
平成12年度	第22回	鈴木健友（秋田県）	桑原敏彦（群馬県）
平成13年度	第23回	川崎 弘（兵庫県）	桑原勝則（群馬県）
平成14年度	第24回	佐々木悦雄（秋田県）	加藤丈晴（岐阜県）
平成15年度	第25回	佐藤正太郎（福島県）	宇野勝義（愛知県）
平成16年度	第26回	金井保栄（静岡県）	山崎一夫（島根県）
平成17年度	第27回	宇佐美裕幸（秋田県）	中山直樹（島根県）
平成18年度	第28回	谷口宜伸（広島県）	大西孝則（奈良県）
平成19年度	第29回	山本新一（青森県）	和田真輝（京都府）
平成20年度	第30回	山本真土（北海道）	高見 学（京都府）
平成21年度	第31回	佐々木剛（愛媛県）	熊谷義秀（北海道）
平成22年度	第32回	一ノ関晃多（秋田県）	北村英明（埼玉県）
平成23年度	第33回	岩本成人（福井県）	羽賀 満（新潟県）

※直近5年間の上位入賞者は前ページに掲載

14. 参加者の心得

全国建築板金競技大会 出場選手および参観者の心得

一般社団法人日本建築板金協会

全国建築板金競技大会に参加する選手並びに参観者の基本的な心得を次の通りと定める。大会期間中、競技会場内・宿泊施設およびこれらに付随する諸施設内にあつては社会人としての秩序や友愛をモットーとし、互いに協力し合い、大会にふさわしい環境をつくるように心がけること。

また、大会の風紀を乱し、選手の本分に反しないように服装、言葉遣いなどについては十分留意し、かつ、品位を保ち、自覚ある行動をとるように心がけること。さらに、参観者は選手に対する心遣いと心配りを行い、選手以上に選手たる行動をとるものとする。

【注意する事項】

1. 集合や競技における時間についてはもちろんのこと、食事や入浴、消灯時間等の規則を厳守すること。
2. 大会および宿泊施設の備品類やその他の公共物の破損、紛失等は絶対に避けること。万が一破損・紛失をした場合は、速やかに大会実行委員まで申し出ること。
3. 競技会場には集合時間前や終了後または休憩時間中に立ち入らないこと。
4. 宿泊室および競技会場をはじめとする施設内は禁煙となっているので、タバコは決められた場所で喫煙し、火災の防止に努めること。
5. 期間中は他の研修生、センター職員には必ず声を出して挨拶をすること。
6. 期間中はできるだけセンターからの外出を避けること。
7. 部屋の鍵は各自で管理すること。
大会終了後は必ず返却し、絶対に持ち帰らないこと。
期間中は、貴重品以外の荷物は部屋に置いたまま必ず施錠すること。
8. 浴室の使用時間は午後5時から午後10時までと決められているので厳守すること。
9. 食堂の利用時間についても厳守すること。
10. 消灯時間（午後11時）を遵守すること。
11. 主催者の指示に従うこと。従わない場合、参加の取消を求める場合があります。
その場合の参加費など、参加者が要した費用の全て、主催者は補償しません。
12. 大会期間中は大会実行委員の指示に従うこと。不明な点は大会実行委員に申し出ること。
13. 大会期間中はセンターでは全面禁酒です。

以上